

【オンライン開催】第12回適正技術フォーラム / 第199回APEXセミナー

「人新世」の危機と、 オールターナティブな経済・技術をめぐって

今日、SDGs(持続可能な開発目標)は、多方面から支持されていますが、それを達成するためには、どのような経済・社会システムや技術のあり方が求められるのかは、あまり明らかではありません。特定非営利活動APEXでは、一昨年、適正技術フォーラムと連携して〈持続可能な開発のための適正な技術選択に関する包括的フレームワーク〉を策定し、今後の望ましい技術のあり方を、技術選択の原則として打ち出していますが、それとともに、望ましい経済・社会システムのあり方も打ち出され、それらが呼応しあって、持続可能な社会の全体像が描かれていく必要があります。

齋藤幸平氏は、マルクスの思想を、膨大な抜粋ノートを含めて、深く掘り下げていく中で、それが、エコロジカルな理論的転換を経ていったことを解明されています。そして、人類による地球環境の改変で危機に直面する「人新世」において、脱成長とコモンを軸とする、代替的な経済・社会のあり方を提起されています。

今回のフォーラムでは、齋藤氏の提起と、包括的フレームワークを突き合わせて考えていく中で、今後の、あり得べき社会の全体像にせまろうとします。

2021年12月10日(金)
14:00~16:30 @Zoom

お申込方法

適正技術フォーラム・APEX 会員の方
下記のWEB サイトからお申込みいただくか、事務局にメール・FAX でご連絡下さい。
<https://atfj.jp/activity/forum/forumform/>
一般の方
下記 URL の「チケットを申し込む」よりお申込みください。
<https://atfjforum20211210.peatix.com>

会場 オンライン (Zoom)
※詳細はお申込みされた方にご案内いたします。
参加費 一般：1,000 円 (学生：500 円)、会員：無料
定員 100 名
主催 適正技術フォーラム
共催 特定非営利活動法人APEX
このイベントは独立行政法人環境再生保全機構
地球環境基金の助成を受けて開催します。



事務局・問い合わせ

適正技術フォーラム事務局
〒110-0003 東京都台東区根岸 1-5-12 井上ビル
TEL:03-3875-9286 FAX:03-3875-9306
E-mail:info@atfj.jp
URL:<https://atfj.jp/>

プログラム

14:00 – 14:05 オープニング

14:05 – 15:00

『「人新世」の危機とオールターナティブな経済
—脱成長とコモン』

講師：斎藤幸平氏(大阪市立大学大学院准教授)

15:00 – 15:45

『持続可能な開発のための適正な技術選択に関する包
括的フレームワーク—近代科学技術に代わる技術体系
をめぐって』

講師：田中直(特定非営利活動法人APEX代表理事、
適正技術フォーラム共同代表)

15:45 – 15:50 休憩

15:50 – 16:30

パネルディスカッション・質疑

モデレーター：古沢広祐氏

(國學院大學研究開発推進機構客員教授)

講師/モデレータープロフィール



斎藤幸平氏(さいとうこうへい)

大阪市立大学大学院経済学研究科准教授。1987年生まれ。ベルリン・フンボルト大学哲学
科博士課程修了。博士(哲学)。専門は経済思想、社会思想。Karl Marx's Ecosocialism: Capital,
Nature, and the Unfinished Critique of Political Economy (邦訳『大洪水の前に』堀之内出
版)によって権威ある「ドイッチャー記念賞」を日本人初、歴代最年少で受賞。2020年、日本
学術振興会賞。ベストセラーとなった『人新世の「資本論」』(集英社新書)で新書大賞2021
を受賞。編著に『未来への大分岐』(集英社新書)など。



田中直(たなかなお)

特定非営利活動法人APEX代表理事。適正技術フォーラム共同代表。1976年、東京大学工学
部卒業後、石油会社で石油精製プロセス管理、廃プラスチック再生、バイオテクノロジー、排
水処理などの業務に従事する一方、1987年の設立当初からAPEX代表を務め、1999年より
専従(代表)となる。理学博士。著書に『適正技術と代替社会—インドネシアでの実践から』
(岩波新書)、編著書に『転換期の技術者たち』、『第三世界の問題を考える』(劉草書房)、『エネ
ルギー問題—工業化社会の自然と労働』(社会評論社)など。



古沢広祐氏(ふるさわこうゆう)

國學院大學 研究開発推進機構 客員教授。(NPO)「環境・持続社会」研究センター代表理事。
大阪大学理学部(生物学科)卒業、京都大学大学院農学研究科(農林経済)研究指導認定。農
学博士。國學院大學経済学部(経済ネットワーク学科)教授を定年退職後、客員教授。著
書に『食・農・環境とSDGs:持続可能な社会のトータルビジョン』(農山漁村文化協会)、『地球
文明ビジョン』(NHKブックス)、『共生時代の食と農』(家の光協会)、『共生社会の論理』(学陽
書房)他。